



ニセコとともに

企業版ふるさと納税制度

「ふるさとづくり寄付」

- 説明・提案資料 -

共感パートナーシッププロジェクト



環境創造都市ニセコ町

SDGs未来都市ニセコ町の まちづくり 一緒に進めませんか

ニセコ町長 片山 健也

ニセコ町は、国にさきがけ2004年からふるさとづくり寄付事業に取り組んできました。この取組は、みなさん一人ひとりの「ニセコ町への想い」を寄付金という形でお受けすることによる、新しいまちづくりの参加・応援制度です。これまでの個人を対象とした取組では一貫して過度な返礼は実施せず、いただいた寄付金を教育・文化活動や環境保全などニセコ町の価値を未来に引き継ぐ事業に大切に使用してきました。

2020年度から、ニセコ町のまちづくりに共感していただける企業様も、企業版として新たにこの取組の対象に加え、多様な参加・パートナーシップによる個性あるふるさとづくりを進めていきたいと考えています。ニセコ町のパートナーとしてまちづくりを進めていただける企業様の応援を心からお待ちしています。

取組の根拠:ニセコ町まちづくり基本条例第50条
(町外の人々との連携)

わたしたち町民は、社会、経済、文化、学術、芸術、スポーツ、環境等に関する取組みを通じて、町外の人々の知恵や意見をまちづくりに活用するよう努める。

ニセコ町からも
共感企業を
応援します！

情報共有

町ホームページや広報誌を通じて、パートナー企業様の応援を紹介

パートナー

その後も寄付に限らない多様なパートナーシップ連携を構築することも可能です

ニセコとともに

企業版ふるさと納税制度「ふるさとづくり寄付」

ふるさと納税(企業版)が より利用しやすくなります！

最大9割
控除

2020年からは最大約9割控除に！



[企業版ふるさと納税の流れ]

1 法人等
寄付の検討

寄付の検討・相談
10万円から寄付が可能！

2 ニセコ町
取組実施

取組の実施。寄付時期の相談
取組開始2020年4月~

3 法人等
寄付の払込

寄付の払込
取組完了前の払込も可(条件有)

4 ニセコ町
寄付の検討

寄付の受入・領収書交付
町ホームページ等で寄付の紹介

5 法人等
税の申告

税の申告
最大約9割が控除



企業版ふるさと納税第1号 宮坂商店様

企業版第1号として、宮坂商店様から「鉄道文化遺産の保全・展示事業」にご寄付いただきました。

ニセコ町と未来へ

共感パートナーシッププロジェクト例

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境と社会と経済の相乗効果

SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり～

- 新たな街区「NISEKO 生活・モデル地区(ニセコミライ)」での持続可能な開発
- 地域木材等の利活用促進、域内調達率向上に向けた取組
- 安心、安全な暮らしを支える計画的なインフラ投資

地域での価値の創造と経済循環の強化

再エネと高効率化によるエネルギー消費の最小化

再生可能エネルギー輸出

カネ流入の最大化

カネ流出の最小化

○環境モデル都市「エネルギーも未来型」

- 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入などCO2の86%削減に向けた取組
- 景観、水環境の保全

○子育て支援・教育「未来は子どもたちがつくる」



- キッズパークの運営、幼児センター・こども館の機能強化
- 地域人材による公営塾の運営
- 外国語教育、食育、スキーなどスポーツ教育の充実
- ニセコ高校の特色ある活動の展開、海外での修学旅行・研修・留学の実施

○文化・コミュニティ「大事な価値を未来へ」



- 情報共有、住民参加によるまちづくりの推進
- 有島記念館、あそぶつく、ニセコ中央倉庫群を核にした文化・芸術・歴史の充実
- ニセコハロウィン、絵本ワールドなど多様な多文化な交流イベントの開催
- ニセコルール(スノーリゾートニセコを支える唯一無二のルール)

このほかにも様々なプロジェクトを実施していきます。第2期ニセコ町自治創生総合戦略に位置付けられた取組が寄付の対象となります。

企業版ふるさと納税
お問い合わせ先

ニセコ町 企画環境課経営企画係 ニセコ町ホームページ「ふるさと納税」

048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見55番地 TEL 0136-44-2121 FAX 0136-44-3500

E-mail: kikaku@town.niseko.lg.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

北海道 ニセコ町

検索



ウ 魅力的で持続可能なまちづくりの推進事業

『共感』がつなぐ多様な連携による 持続可能なまちづくり推進事業



R6予算:2,422万円

2022年～

企画環境課経営企画係

担当:松居



全国初の自治基本条例に基づく住民自治のまちづくりの実践、「環境モデル都市」や「SDGs未来都市」の取組など、ニセコ町がこれまで取り組んできたまちづくりに対し、町民に加え、町外のニセコファン・ふるさと住民や企業からいただいている『共感』について、モデル・先導となる環境を中心とした多様な連携事業の積み重ね・発信によりその価値を高め、さらなる『共感』による多様な連携が自発的に創発され、好循環に結び付けることを目指します。これにより環境・経済・社会の三側面など様々なまちづくりの分野で相乗効果を発揮し、地域の持続可能性を高めることを目的としています。

＜主な取組＞

- ・まちづくり会社を中心とした多様な連携の推進体制の構築
- ・モデル・先導となる環境を基軸とした多様な連携モデル事業の展開
- ・連携創発をうむ『共感』形成に向けた「住民参加」と「情報共有」の実践



＜R5寄付者＞※申出順に掲載
イオンデイトライト株式会社 様
株式会社サンコー 様
株式会社中澤 様
FPL証券株式会社 様

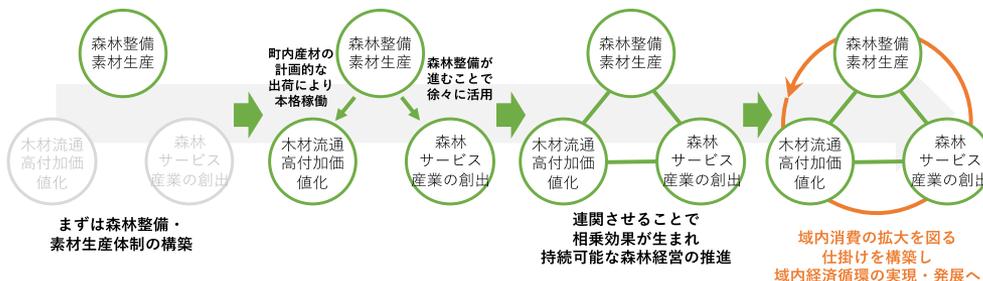
地域資源活用に向けた地域林業会社事業



R6予算:2,413万円

2019年～

農政課林業再生係 担当:稲森



地域商社の役割は

森林整備・素材生産体制を構築し地域の森林資源を（再）価値化することで木材流通・高付加価値化、森林サービス産業の創出へと展開しこれらを連関させることで持続可能な森林経営の推進を図り並行して域内消費の拡大を図る仕組みを構築し域内経済循環の実現・発展へと結びつけていくこと



コロナウイルスによる暮らしの変化や脱炭素社会、ウッドショックなどにより森林・木材に対する関心の高まりに合わせて、まずは森林空間の価値向上・体験の創出など森林を身近に感じてもらえる取組をアプローチします。また、未整備森林を多く抱える森林管理、依然として低いニセコ町産木材の供給体制を整えつつ、町産材製品の開発・拡販、体験プログラムを通じた関係人口の創出、人材育成を図ります。

<主な取組>

- ・官民連携による林務体制の再構築
- ・ニセコ町産材の循環機能となるニセコモデルの森林整備機能・交流型木材加工施設(遊休施設利活用)の試験運用
- ・町産材製品のマーケティング、循環の始動
- ・関係人口創出を見据えた体験プログラムの開発
- ・デジタルコミュニティ通貨連携による域内経済循環、情報発信、関係・共感人口の創出
- ・林業・木材加工従事者の人材確保・育成



<R4寄付者> ※申出順に掲載
 株式会社セイコーマート様
 王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社様
 上山試錐工業株式会社様

イ 交流人口、関係人口の拡大と居住環境の整備事業

持続可能な観光地域づくり(GSTC)



R6予算: 1,559万円

2021年～ 商工観光課商工観光係 担当: 川壜



グリーン・デスティネーションズ
2023シルバーアワード、世界の持続可能な観光地TOP100選2年連続受賞
GSTC公式トレーニング実施



国連世界観光機関(UNWTO) ベスト・ツーリズム・ビレッジ選定



Glasgow Declaration
Climate Action in Tourism

COP26 グラスゴー宣言署名

一いもーに
企業版ふるさと納税制度「ふるさとづくり寄付」

ニセコ町は、国際観光リゾート地として、また環境モデル都市・SDGs未来都市として、観光分野でも持続性を保ち、海外・国内の観光客だけでなく、町民からも愛され、信頼される観光地域づくりを進めていきます。

<観光振興ビジョン>

将来像

町民や観光客から信頼される、持続可能な国際リゾート

- ・成熟した通年型の国際リゾート
- ・高品質・高付加価値の国際リゾート
- ・町民が誇れる国際リゾート

<令和6年度の主な取組>

- ・サステナビリティコーディネーター配置・支援
- ・地域事業者の国際認証取得支援
- ・GSTCコンテンツ造成
- ・ベストツーリズムビレッジ交流事業 など



<R5寄付者>

株式会社トヨタレンタリース札幌様

ア 地域資源を活かした産業の育成と多様な働き方を実現できる環境づくり事業

にぎわいづくり起業家等サポート事業 商工観光魅力アップ補助事業



R6予算:300万円

2011年～

商工観光課商工観光係 担当:川埜



ピリ辛、ブラックペッパー味はニセコ道の
駅で販売しています。



『クリスマスチーズ』ブレーン



<にぎわいづくり起業家等サポート事業>

ニセコ町で、事業に「チャレンジする」、事業の「ステップアップする」方をサポートします！

ニセコ町内で、新しくお店を出店したい、空き店舗を借りたい、今のお店を拡張したい、お店の業種を転換したい、そんなみなさんに対し工事費用等の一部を助成する制度です。

令和5年度までに、56件の取組に対し、支援を行っています！



【活用事業例】

飲食店、宿泊施設、加工場、町工場、パン屋、理髪店、花屋など多様な分野で、観光客に限らず、町民生活に身近なお店も活用しています。

ニセコ町商工会の会員は過去最高を更新し、増加中！！

<商工観光魅力アップ補助事業>

地域の複数の事業者が連携し、地域資源を活用して新たな魅力・商品を創出する取組を支援します！

令和5年度に制度新設し、1件の活用実績です。



サウナトラック事業

軽トラックで持ち運びができるサウナを使った事業の展開を予定しております。内装にはニセコの木材を使います。

COMING SOON...

ア 地域資源を活かした産業の育成と多様な働き方を実現できる環境づくり事業

気候変動対策推進事業



R6予算:1,350万円

2023年～

企画環境課環境モデル都市推進係 担当:長谷部



ニセコミライ(SDGs街区)第一工区のソーラーカーポート 上:秋 下:冬

地域の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー事業の実施及び町民による主体的な再生可能エネルギーの利用の促進を図るため、町、事業者及び町民等の責務を明らかにするとともに、基本的な事項を定め、必要な措置を講ずることにより、脱炭素型の持続可能な地域づくりに資することを目的とする中で、町民による主体的な再生可能エネルギーの利用の促進を目的とし、かつ、地域と調和した手法による再生可能エネルギーの利用となる事業のうち、特に持続可能な地域づくりに資すると認められる取組の促進を図ります。

<令和5年度実績>

ニセコミライ(SDGs街区)における、ソーラーカーポートへの太陽光発電自家消費システム(積雪2.3m対応のソーラーパネル)導入による、豪雪寒冷地であるニセコ町での太陽光発電設備の先行導入による実現可能モデルの実証

<令和6年度の主な取組>

ニセコスタンダード補助金(案)制度の制定による一般家庭や事業者への太陽光発電設備導入、及び新築高性能住宅の建設への補助による支援

ウ 魅力的で持続可能なまちづくりの推進事業

ニセコ高校新寮整備事業



R7予算:13億円

2025年～2026年

総合教育課高校教育係 担当:島崎



ニセコ高校は、全国から生徒を募集する「地域みらい留学」を実施しており、域外の生徒が急増している。ニセコ高校では、最高目標として「シビックプライドを持ったグローバル人材の育成」を掲げ、新寮をフィールドに地域住民や企業との連携やデジタル技術を駆使した起業家教育を産官学と協働しながら推進していく。

このほか、将来的な脱炭素寮を視野に入れ、豪雪対応型の太陽光発電設備を導入する。また、個人空間と共用空間のバランスを考慮し、共同生活を通じた絆を創出しつつ、セキュリティや防災対応などの安全面も配慮し、異なる多様な価値観を持つ若者世代のコミュニケーションを促進するための拠点施設とする。

<整備内容>

構造・規模: 木造・2階建

定員: 68人

整備内容: ユニット部屋、個室、食堂、談話室、自習室、中庭など

整備費: 建設工事12億円、付帯工事1.2億円、備品整備0.8億円



ニセコとともに

企業版ふるさと納税制度「ふるさとづくり寄付」

ウ 魅力的で持続可能なまちづくりの推進事業

中央倉庫群交流支援事業



R6予算: 1,500万円

2016年～

企画環境課経営企画係

担当: 松居



旧農協倉庫をリノベーションした施設「中央倉庫群」を情報や人材が交流し、文化を発信する新たな拠点施設として活用しています。指定管理者による管理運営により、町民の利活用を促進し、交流イベントの企画・運営などを実施。併せて地域材を活用した木製遊具の整備など子育て支援の充実も図っています。さらにテレワークやワーケーション、地域おこし協力隊の活動拠点、移住相談の拠点施設として利活用を進めます。

※中央倉庫群の旧でんぷん工場内はフリースペースがあり、誰でも無料で利用可能(有料での貸館利用も可能)。館内にはカフェがあるほか、キッズスペース、授乳室、フリーWifiなど、設備も充実しています。

- 木製遊具、おもちゃなどの充実
- テレワーク利用環境の向上
- キッズパークなど子育て支援イベントの開催
- コンサートや映画会などの文化交流イベントの開催支援
- 地元産品を使った新しい土産品開発・販売
- 町民、地域おこし協力隊、移住希望者などの交流促進

など



ニセコとともに

企業版ふるさと納税制度「ふるさとづくり寄付」

ウ 魅力的で持続可能なまちづくりの推進事業

コミュニティFM「ラジオニセコ」支援事業



R6予算：5,800万円

2012年～

企画環境課広報広聴係

担当：澤田

ラジオニセコ放送劇団



出演したみなさん



ラジオニセコは、2012年3月31日に地域の子どもの声とともに放送を開始したコミュニティFMです。町民が中心となっているラジオニセコ放送劇団によるラジオドラマや町民パーソナリティによる番組など「聴くだけじゃない。出るラジオ！」を合言葉に町民全員参加を目指しています。

開局10年目を迎え、音響調整卓などの備品を毎年少しずつ更新中です。

また、町内には電波の状態が悪く、放送を聞くことができない地域があります。そこで、ラジオニセコからの放送を町内にまんべんなく届けるため、送信所を今のヘリポートからより電波状態のよい場所に移設することで改善を図ります。

町民パーソナリティの放送



写真提供：ラジオニセコ

- ラジオニセコの備品の更新(音響調整卓やPC関連など)
- 町内の難聴地域を解消するため、送信所の移設にかかる費用など

ラジオニセコ
フォーラム



ニセコとともに

企業版ふるさと納税制度「ふるさとづくり寄付」

ふるさと納税制度(個人版)も!

環境創造都市ニセコ町

ふるさと納税で ニセコ町のまちづくりにご参加を!



国にさきがけ2004年から取り組んでいるニセコ町ふるさとづくり寄付事業は、みなさん一人ひとりの「ニセコ町への想い」を寄付金という形にして応援する制度です。

いただいた寄付金は、教育・文化活動やコミュニティ活動支援、産業振興、そしてニセコ町のすばらしい自然を未来に引き継ぐために大切に使用させていただきます。

また、ご寄付いただいた方とつながりを持つ、「ふるさと住民票」の取り組みも行っております。ニセコ町のまちづくり、ふるさとづくりに共感していただけるみなさん、ニセコファンのみなさん、応援を心よりお待ちしております。



ふるさと住民カード



寄付金は下記の事業に活用させていただきます

- 1、森林資源の維持、保全及び整備に関する事業
- 2、環境の保全及び景観維持、再生に関する事業
- 3、自然エネルギー及び省エネルギー設備の整備に関する事業
- 4、有島武郎に関する資料の収集及び有島記念館特別展に関する事業
- 5、住民自治の醸成又はコミュニティの推進に関する事業
- 6、教育、スポーツの振興及び子育て環境整備に関する事業
- 7、住民福祉及び生活環境整備に関する事業
- 8、NPO及びボランティア組織の活動に関する事業
- 9、産業振興に関する事業
- 10、その他まちづくりに関する事業
- 11、町長が特に指定する事業



木育活動、自然エネルギー導入、教育・子育て支援、ボランティア活動支援など

住民税の寄付金控除の対象になります

この制度は、「ふるさと」を応援したいという納税者の方々の思いを実現するため、地方公共団体に寄附した場合、個人住民税や所得税を一定限度まで控除する仕組みです。

個人の方が、市区町村や都道府県に2,000円を超える額の寄附をした場合、寄附金額から2,000円を差し引いた額を、所得税と住民税の合計額から、寄附金控除により一定の限度まで全額控除する制度です。

寄附対象は出身地に限らず、全国すべての市区町村・都道府県に寄附した場合でも控除の対象となります。

この制度による控除を受けようとする場合には、住所地の所轄税務署に確定申告する必要があります。

ふるさと納税(個人版)
お問い合わせ先

ニセコ町 企画環境課経営企画係 ニセコ町ホームページ「ふるさと納税」

048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見55番地 TEL 0136-44-2121 FAX 0136-44-3500

E-mail: kikaku@town.niseko.lg.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

北海道 ニセコ町

検索

